

## 舗装工事の交通誘導員の計上について

### 県道

工 種 ・ 規 格		工事数量 ①		日 進 量 ②		工事日数 ①/②	備 考
舗装撤去・仮復旧							
舗装切断工	t= 15 cm以下	18.0	m		m/日		積算基準 I-14-④-116による
舗装版直接	BH 0.06 t= 10 cm以下		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		水道事業実務必携 P156による
舗装版直接	BH 0.1 t= 10 cm以下		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		水道事業実務必携 P156による
舗装版直接	BH 0.2 t= 10 cm以下		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		水道事業実務必携 P156による
舗装版直接	BH 0.35 t= 10 cm以下	257.9	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		積算基準 I-14-④-115による
路面切削工 穀運搬L=6.2kn		48.0	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日		積算基準 I-14-④-113による
舗装復旧							
表層工	t= 5 cm 幅 1.4 以上	13.5	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		積算基準 I-12-④-99による
表層工(歩道)	t= 3 cm 幅 1.4 以上	241.6	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		積算基準 I-12-④-99による
路面切削工 表層工	t= 5 cm 幅 1.4 以上	949.9	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日		積算基準 I-12-④-99による
路面切削工 路面切削	t= 6 cm 以下 4,000m <sup>2</sup> 以下	949.9	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup> /日		積算基準 I-14-④-112による
不陸整正		255.0	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		積算基準 I-14-④-103による
区画線工							
実線	W 15 cm 供用区間	200.0	m		m/日		積算資料 P363
実線	W 30 cm 供用区間	126.0	m		m/日		積算資料 P363
実線	W 45 cm 供用区間	15.0	m		m/日		積算資料 P363
破線	W 15 cm 供用区間	100.0	m		m/日		積算資料 P363
合 計							

### 交通誘導員の算定

配置人数 = 交通誘導員A

交通誘導員B

交通誘導員A = ×

=

交通誘導員B = ×

=

## 舗装工事の交通誘導員の計上について 町道

工 種 ・ 規 格		工事数量 ①		日 進 量 ②		工事日数 ①/②	備 考
舗装撤去・仮復旧							
舗装切断工	t= 15 cm以下	86.0	m		m/日		積算基準 I-14-④-116による
舗装版直接	BH 0.06 t= 10 cm以下	33.8	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		水道事業実務必携 P156による
舗装版直接	BH 0.35 t= 10 cm以下	489.8	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		積算基準 I-14-④-115による
舗装復旧							
表層工	t= 4 cm 幅 3 以上	589.8	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		積算基準 I-14-④-104による
不陸整正		590.0	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> /日		積算基準 I-14-④-103による
区画線工							
実線	W 15 cm 供用区間	53.8	m		m/日		積算資料 P363
合 計							

### 交通誘導員の算定

配置人数 = 交通誘導員A

交通誘導員B

交通誘導員A = ×

=

交通誘導員B = ×

=